

快挙達成！ アジアのワインに初めてのパーカーポイント

グレイスワインの甲州が世界基準のワインに仲間入り

Cuvee Denis Dubourdieu 「KOSHU 2004」

(87—88点)

「キュヴェ・ドゥニ・デュブルデュ」

極めて良い Extremely Good

醸造元：中央葡萄酒株式会社 グレイスワイナリー

世界のワイン業界に多大な影響力を及ぼすワイン評論の第一人者であるロバート・M・パーカー Jr.氏は、初めてアジアのワインに高得点をつけました。

アカデミー・デュ・ヴァンは「世界に通じる日本のワインを造る」というプロジェクトを企画し、世界トップの白ワイン醸造家であるドゥニ・デュブルデュ教授（ボルドー大学）を、醸造コンサルティングに要請し、世界基準のワイン「キュヴェ・ドゥニ・デュブルデュ」を造りました。パーカー氏が昨年12月勝沼を訪れて「KOSHU 2004」を試飲し、絶賛されたことによって、「甲州」という品種が注目され、今まで嘗てないほどの評価を得て、話題になりつつあります。

歴史に残る第1回目のプロジェクトは、これまでの甲州種ワインへの取組みと品質の高さと技術力を評価され、中央葡萄酒株式会社が醸造を任されました。

従来の弊社甲州種ワインと違うところは、日本人の味覚と嗜好とは異なる外国人の好みに合わせることを考慮し、冷涼な気象条件に由来する個性的な切れのある酸味が特徴の「菱山畑」の甲州の中から厳選したブドウを使用し、甲州種の特徴である苦味を除くため、フリーラン・ジュースだけを用い、酸素を遮断した還元状態で発酵させ、補糖も補酸も行わない醸造法で造りました。

2004年産は主に甲州種のデータを集めることが目的でしたので170ケースのみ瓶詰めされ、100ケースは3月22日アメリカに輸出されました。

今年2005年は、3000～5000ケースを目指しています。このプロジェクトは弊社を含め日本全国の多くの造り手の方々の参加を歓迎しています。

第1回目のプロジェクトで弊社が醸造した甲州が世界に認められれば、弊社が日本のリーディングカンパニーとして評価され、今後日本のワイン全体が世界市場で認められ、日本のブドウ栽培と農業も世界から認められることに繋がっていくことは間違いないでしょう。

パーカー氏が点数をつけたということは、アジアのワイン業界、そして、農業の発展をも期待しているのではないのでしょうか？

弊社が当プロジェクトで得たノウハウは、現在発売中の「ヴィンテージ甲州2004」、4月下旬発売予定の「グレイス甲州 シュール・リー2004」、7月下旬発売予定の「グレイス甲州・菱山畑2004」他にも当然反映されています。

そして、これらのワインは次世代の人々に多くの夢を与えることと確信しています。

2005年3月24日

中央葡萄酒株式会社